

聖霊降臨節第13週 歓迎礼拝

2017年8月27日 第一礼拝(午前8:00～) 歓迎礼拝(午前10:30～) 夕拝(都合により休会)

第1部 PRAISE HOUR (賛美の時)

※歓迎の賛美 「主われを愛す」「シャイン ジーザス シャイン」 — 同
「いのちの光」

第2部 BIBLE HOUR (みことばの時)

聖書朗読 『マタイの福音書』13章1-23節(新約24頁) …… 司 会 者
黙 想 …… 同

メッセージ 「心を耕されよ」 …… 近 伸之牧師

※応答の賛美 新聖歌208「イエスは愛で満ちたす」 …… 同

感謝の献金 (新聖歌58) …… 同

感謝祈禱 …… 渡邊 智子姉

諸 案 内 (来信、集会案内) …… 司 会 者

諸 報 告 (来会者紹介、報告および暗唱聖句) …… 近 伸之牧師

※頌栄の賛美 新聖歌198「**GOD BLESS YOU**」(1節のみ) …… 同

※派遣の賛美 新聖歌54「主の祈り」(前方スクリーン参照) …… 同

※祝福の祈り …… 近 伸之牧師

※後 奏 (新聖歌59-4)

第3部 FELLOWSHIP HOUR (交わりの時)

愛餐会

※印の所では、お身体の不自由な方以外はご起立をお願いします。

第一礼拝	司 会 教 説 : 近 伸之牧師	音 響 : 片山 勝三兄 献 金 : 沼田佐代子姉	
司 集	会 : 横堀 正美兄 会 : 横堀 信子姉	映像・音響 : 賛美チーム他 説教の録音 : 片山 勝三兄 説教の録画 : 近 伸之牧師	C S 担 当 : 佐藤 繁実兄 掃 除 : 小山 千春姉

説 教 メ モ

1. 「どの」みことばを「誰が」蒔くか、ではなく、「どこ」に蒔かれたか。聞き、受け取る側の心が問われている。
2. 道端、薄い岩地、茨、良い地という、四つの心の姿。善人が道端に、悪人が良い地に、という逆転もある。
3. 私たちが自分の心を聖霊にゆだねるとき、道端のような心も良い地に変えられる。今、心を耕されよう。

先週の暗唱聖句

「そこで、【主】の使いは彼女に言った。「あなたの女主人のもとに帰りなさい。そして、彼女のもとで身を低くしなさい。」 (『創世記』16章9節)

今週の暗唱聖句

「良い地に蒔かれるとは、みことばを聞いてそれを悟る人のことで、その人はほんとうに実を結び、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍の実を結びます」 (『マタイの福音書』13章23節)

牧師のサイン:

個人、団体からの来信

2017年8月27日

新潟福音放送協力会よりNL(No. 236) / 「福音新潟山形」第52号 / 「山形からの恵み」Vol. 5 / 山の下福音教会より行事案内[9月24日(日)賛美礼拝ほか] / 新津教会より「チャペルコンサート」案内[10月21日(土)19時開演]

先週の集会出席者数

8/20(日)	教会学校	幼児男子1 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児- 成人男性- 幼児女子3 小学女子1 中学女子- 高校女子- 女児4 成人女性2		
	第一礼拝	男2 女2	※月に一回、実用書道教室を開催	
	第二礼拝	男11 女15 計26	8/21(月)	月曜家庭集会 男1 女4
	(子ども)	男児1 女児4	8/23(水)	救 禱 会 男3 女5
	子ども向け夕拝	男7 女5 男児1 女児6	8/25(金)	しゃべり場夕バタ 男- 女3
8/21(月)	子ども会	男5 女11 男児1 女児7	8/25(金)	金曜祈禱会 男1 女4

諸 集 会 の ご 案 内

	※月に一回、実用書道教室を開催		
8/28(月)午後8:00	月曜家庭集会	(休会)	
8/30(水)午後7:30	バルナバ祈禱会	教会堂	司 会 : 片山 初子姉
9/1(金)午後1:30	しゃべり場夕バタ	渡邊智子姉宅	問合先 : 渡邊 智子姉
9/1(金)夜	金曜祈禱会		

9/3(日) 聖霊降臨節第14週

第一礼拝 午前8:00	司 会 教 説 : 近 伸之牧師	音 響 : 片山 勝三兄 献 金 : 沼田佐代子姉	聖餐準備 : 担当役員 配 餐 : 担当役員
教会学校 午前9:00		担 当 : 片山 初子姉	
聖餐礼拝 午前10:30	司 会 : 近 伸之牧師 集 会 : 山岸あけみ姉 小林 洋子姉	映像・音響 : 片山 健司兄 配 餐 : 横堀 正美兄 説教の録画 : 近 伸之牧師	感謝祈禱 : 片山 勝三兄 掃 除 : 笹川 清子姉

礼拝について	
主日の予定	「教会の明日」グループ祈禱 礼拝後(15~20分程度) C S 教師会 午後1:30~ 定例役員会 午後2:30~
夕拝	長谷部愛実宣教師・宣教区主催壮行会に合流 新潟福音教会

報 告

1. 本日の予定
歓迎礼拝の恵みを感謝します。この後は第3部として交わりの時(昼食会)をもちます。また、午後2:00より賛美練習を行います。
2. 「教会の明日を祈る」グループ祈禱のお知らせ
先月の会堂建築懇話会での意見をもとに、9月より第一週の礼拝後に、2~3人でのグループ祈禱の時を持ちます(15~20分程度)。礼拝後すぐに帰宅される方の対応は主に牧師・集会係が担当しますので、教会員の方はグループ毎に心を合わせ、教会の目的と将来のために祈り合ひましょう。
3. 先週の来会者のため
8月20日(日)第二礼拝に澁木健人くん(敬和高1年)が出席されました。また、同日夜からの子ども会に渡辺杏奈さん、渡辺梨花さんが泊まりがけで参加されました。
4. 長谷部愛実宣教師合同報告会・壮行会の案内
次週9/3(日)当教会の夕拝は、標題の宣教区集会に合流します。これが教団・宣教区として、同師を送り出す最後の集会となりますので、ふるってご参加ください。

ある三十代そこそこのコンピュータ技師の方で、超一流と言われる大学の修士課程まで終えた方が訪ねてきました。神経がいらついで、三十分おきにタバコを吸わないと落ち着かないのだそうで、話をしながらもスパスパやっていました。コンピュータ筋でやってきたこの人、最近では原子炉の模擬実験やシミュレーションの仕事もしているとのこと。

大変な仕事だが、人類の創造した最高科学技術のひとつだと思い、仕事には誇りを持っている。しかし、この自分もいつかは必ず死ぬのだと考えると、いたたまれない不安に襲われるというのです。この死の問題に関しては、どんな科学技術をもってしても、解決が得られるようなものではないことを知ったというわけです。

「私は正直言って、科学万能の考えを持っていました。宗教などというのは、アホらしいもの、あるいは、単に弱い者がすがりつく迷信に過ぎないとさえ思っていました。しかし最近、自分も死ぬべき存在である以上、またそれが科学では解決できない問題であると知った以上、宗教にそれを求める以外にないと思うようになって……」と語ってくれました。

人間の心は幾重にも重なり合っていますから、誰もが幼子のように、すぐさま単純に聖書の言っている真の神様を信じられるというものではないかもしれません。時には、すでに学んだ学問や経験、科学的な知識が邪魔になることもある

でしょう。しかしこの人のように、自分自身の存在や死に対して不安を感じる中で、真実に解決を求める者に対しては、神様はきっと納得できるような形で答えを与えてくださるに違いありません。

主イエスの弟子のひとりにさえも、トマスといって主の復活が信じられないという人がいました。他の弟子たちが「私たちは主を見た」と言うのに、トマスは「私は、その手に釘の跡を見、私の指を釘のところに差し入れ、また私の手をそのわきに差し入れてみなければ、決して信じません」と言い張るのでした。彼はいわば、科学者のような心の持ち主だったのかもしれませんが。その彼もやがては、「私の主。私の神」と主イエスの前にひざまずいたのです。

科学を否定するものではありません。でも科学に限界があることは事実です。殊に罪と死の問題に関しては、キリストの十字架と復活のみがその答えであることを、ぜひ知っていただきたいのです。



ライフライン

毎週土曜日 朝5:15~5:45 BSNテレビにて放送中です。
★24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



9/2(土)「琉球賛美2」横田盛永さん

前週に引き続き、沖縄県国頭郡金武町にあるキリスト教会の牧師・横田盛永さんを紹介いたします。横田さんは、牧師として教会に赴任してすぐ、地域の方に神様の愛を伝えるため、沖縄民謡のメロディーに沖縄のこぼれをのせて神への賛美を歌う「琉球賛美」を始めました。その活動は県内外に広がり、レコードやCD もリリースされました。2週目の今回は、横田さん自身についてのお話を伺うとともに、「琉球賛美歌」をお届けします。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata
BEGiN. ここから始まるあなたの伝道。

私たち豊栄キリスト教会は、
『ライフ・ライン』の協力教会です。

赤とんぼ
みな母探すごとくゆく

細谷源二



2017年度教会目標

「受けるよりも与えることを」

「主イエスご自身が、『受けるよりも与えるほうが幸いである』と言われたみことばを思い出すべきことを、私は、万事につけ、あなたがたに示して来たのです」

(『使徒の働き』20章35節)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>

電子メール: info@toyosakakyokai.net

ブログ: <http://toyosakakyokai.seesaa.net>

